

FAX送信表

関東地方整備局港湾空港部

港湾空港総室 宛

FAX番号 045-650-8954

11月5日(水)応急復旧訓練

取材申込書

■会社名			
■担当者名			
■連絡先 : 部署等			
TEL			
■取材体制: 人数			
レポーター 有無	有	無	
インタビュー有無	有	無	
インタビュー項目			

※電話、E-mailでも登録いただけます

■連絡先

〒231-0003

横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第二合同庁舎14F

Tel. (045)-211-7406

Fax. (045)-650-8954

E-mail: info-i83ab@pa.ktr.mlit.go.jp

別紙

本訓練の位置づけ



東扇島基幹的広域防災拠点の応急復旧基礎訓練の実施概要

◆実施概要

本訓練は、首都直下地震（東京湾北部地震）が発災したことを想定し、防災拠点が部分的に液化等の被災を受けた場合に、所要の機能を速やかに回復することを目的としている。

民間（社）日本埋立浚渫協会と協働で、防災拠点の応急復旧に必要な資機材を、横須賀港から東扇島の耐震強化岸壁まで海上輸送し、防災拠点に保管してある復旧資機材とともに、速やかに応急復旧する訓練を行うものである。

◆実施日時 11月5日（水）

9：00	開	場（受付開始）
9：15	開	会
9：30～12：00	訓	練
12：00～12：15	反	省

◆訓練参加機関等

- ・ 関東地方整備局 総勢70名程度
- ・ （社）日本埋立浚渫協会 総勢70名程度

【日本埋立浚渫協会】

・ 警戒船		1	隻
・ 押船	（1,500ps）	1	隻
・ 車両搭載装置付き台船（500t積）		1	隻
→クレーン車	（25t吊）	2	台
→クレーン付きトラック	（4t積）	2	台
→ブルドーザ	（3t及び15t）	2	台
→バックホウ	（山積み0.13立米）	1	台
・ 交通船①	水先艇	1	隻
・ 交通船②	交通船	1	隻

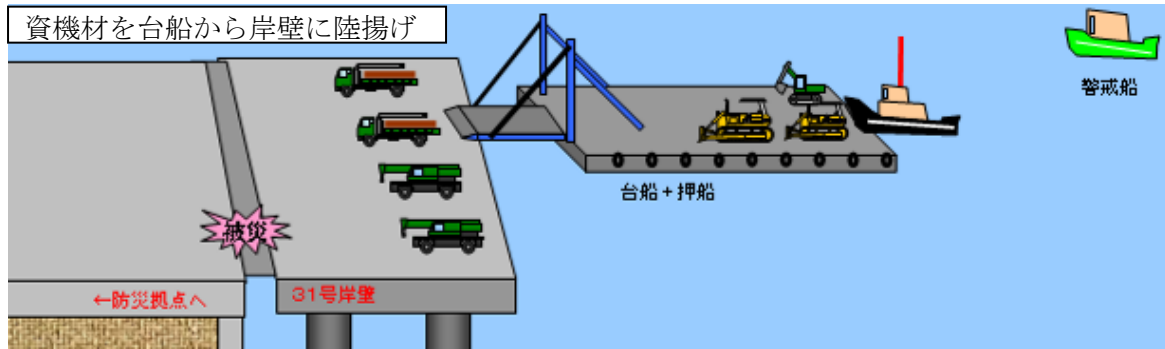
【関東地方整備局】

・ 災害対策用ヘリコプター	あおぞら号（関東地方整備局）	1	機
・ 調査監督船	たかしま（京浜港湾事務所）	1	隻
・ 衛星通信車	（横浜国道事務所）	1	台
・ 対策本部車	（関東技術事務所）	1	台
・ 照明車	（関東技術事務所）	1	台

◆訓練実施項目

① 海上輸送訓練

9:30から防災拠点に近接する東扇島31号耐震強化岸壁にて資機材の陸揚げを開始。



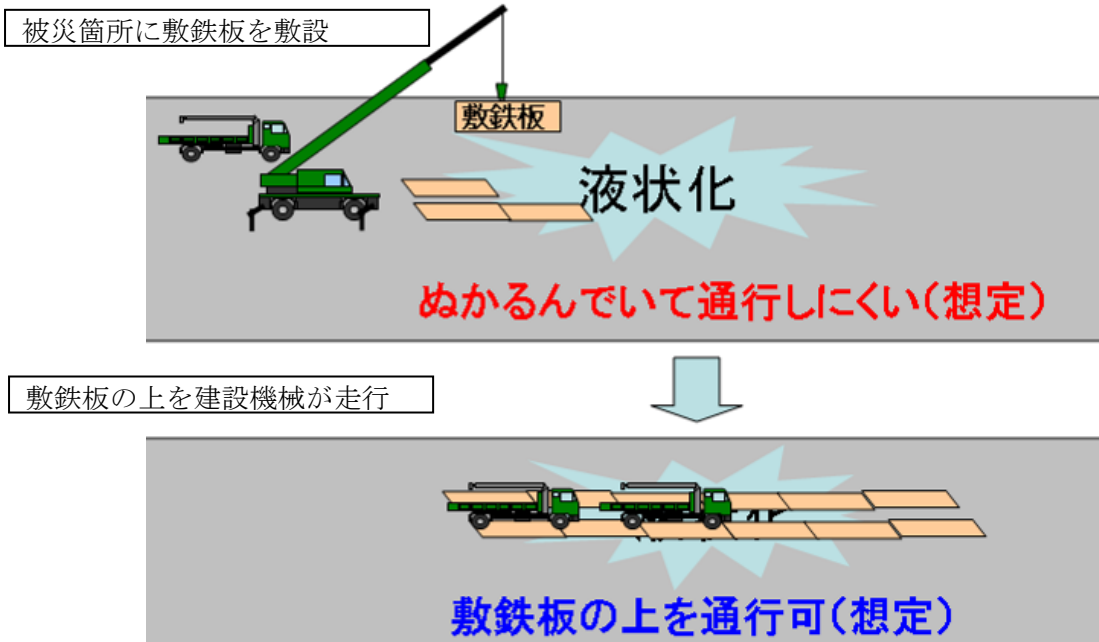
② 施設点検訓練

10:30と10:55の2回 ヘリコプターが防災拠点に離着陸し、応急復旧の状況を点検。



③ 防災拠点内資機材展開訓練

10:20~12:00 液状化（想定）した箇所の建設機械の走行性を確保するために、敷鉄板の敷設を行う。その上を建設機械が走行。



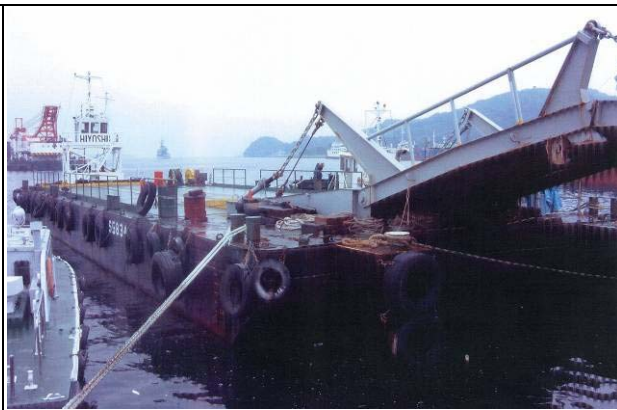
【参考】 備蓄資機材の実働性の検証（訓練終了後の午後に実施）

防災拠点を発災後24時間以内に応急復旧し、緊急輸送活動の中継基地としての機能を確保できるか検証する。

- ・敷鉄板の敷設 160枚 31号岸壁から防災拠点内までの緊急物資通路の走行性確保
- ・投光機の設置作業 50台 防災拠点が停電した際の緊急物資の取扱い作業性確保

◆主な訓練参加船舶及び車両等

(社)日本埋立浚渫協会
車両搭載装置付き台船 (500 t 積み)



(社)日本埋立浚渫協会
クレーン車 (25 t 吊り)



(社)日本埋立浚渫協会
クレーン付きトラック (4 t 吊り)



(社)日本埋立浚渫協会
ブルドーザ
3 t タイプ



関東地方整備局（京浜港湾事務所）
調査監督船たかしま



関東地方整備局
あおぞら号



関東地方整備局（横浜国道事務所）
衛星通信車



関東地方整備局（関東技術事務所）
対策本部車



関東地方整備局（関東技術事務所）
照明車



訓練実施計画図

・台船で運搬してきた敷鉄板を車両の走行性確保のため渡版の破損を想定したピンク()部分に使用

テント倉庫①
・ここで保管してある敷鉄板を車両の走行性確保のため茶色()部分に使用

首都高



首都圏臨海防災センター
・ここで保管してある投光機を緊急物資輸送の作業性確保のため公園の全体に設置

資材の展開計画

- 敷鉄板敷設 2枚 11/5 AM 訓練時
- 敷鉄板敷設 8枚 11/5 AM 訓練時
- 敷鉄板敷設 80枚 11/5 PM 検証時
- 敷鉄板敷設 70枚 11/4 準備日 (舗装の保護のため前日に敷設)
- 投光機設置 50台 公園の全体に設置 ※11/6 後片付け日

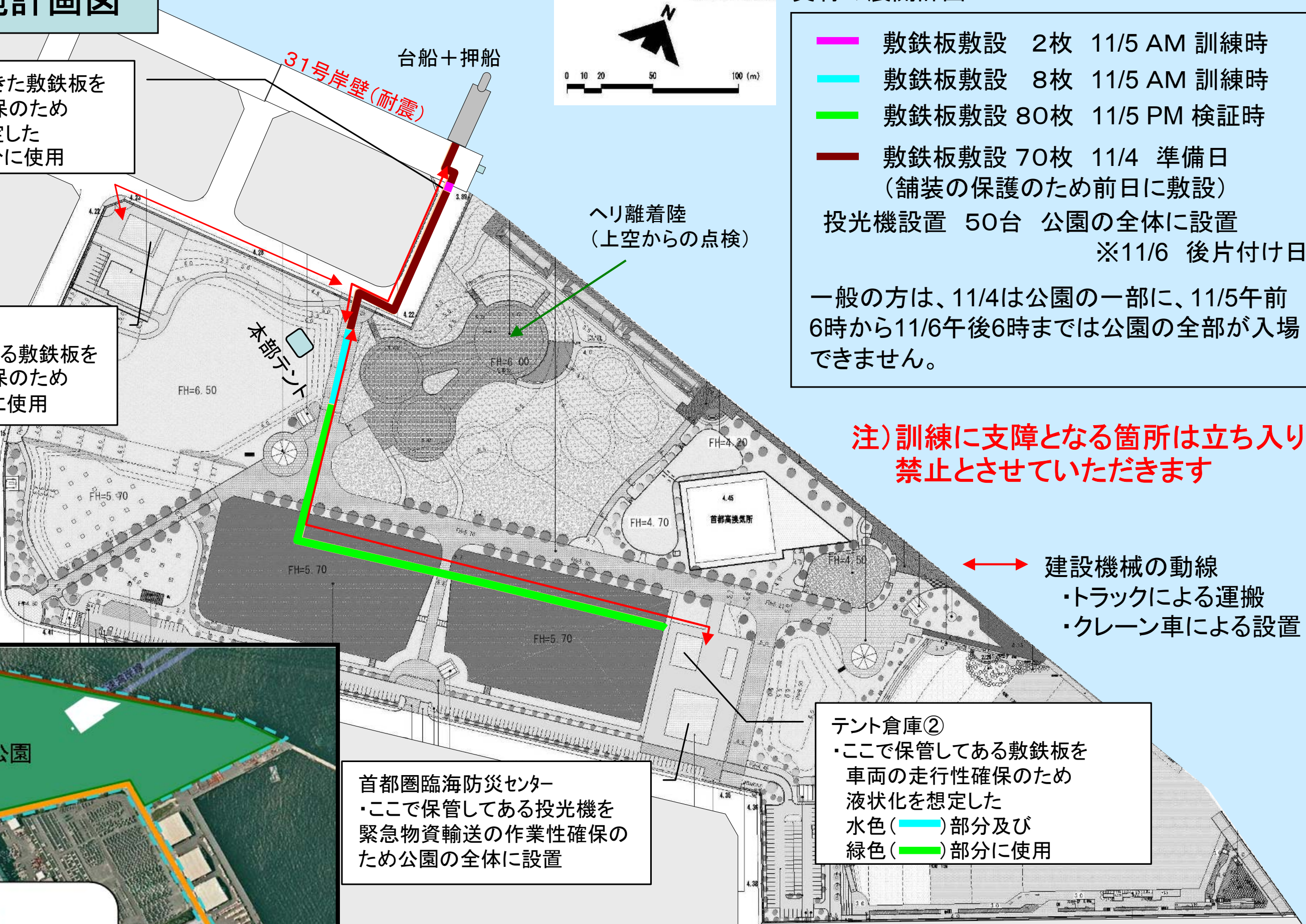
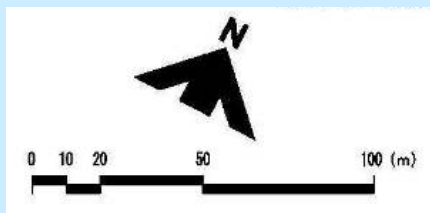
一般の方は、11/4は公園の一部に、11/5午前6時から11/6午後6時までは公園の全部が入場できません。

注) 訓練に支障となる箇所は立ち入り禁止とさせていただきます

建設機械の動線
・トラックによる運搬
・クレーン車による設置

テント倉庫②
・ここで保管してある敷鉄板を車両の走行性確保のため液状化を想定した水色()部分及び緑色()部分に使用

9号岸壁(耐震)



東扇島基幹的広域防災拠点とは？

基幹的 広域防災 拠点とは

■都道府県単独では対応不可能な、広域あるいは甚大な被害に対し、国及び地方公共団体が協力して応急復旧活動を行う場として、都市再生プロジェクト第1次決定（平成13年6月）を受けて東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点の整備を有明の丘地区及び東扇島地区において進めています。

■またこれらの地区は、平常時には人々が憩う魅力的な都市空間として有効に利活用される拠点として整備します。

有明の丘地区

臨海副都心の立地を生かした 首都圏広域防災のヘッドクォーター

有明の丘地区が位置する臨海副都心は、わが国の政治・経済の中核であり諸機能が高度に集積する東京都心の至近に位置し、一般及び高速交通網が充実しているとともに、大規模なスポーツ施設やコンベンションセンター等が設けられる等、既に都市基盤が相当程度整備されています。

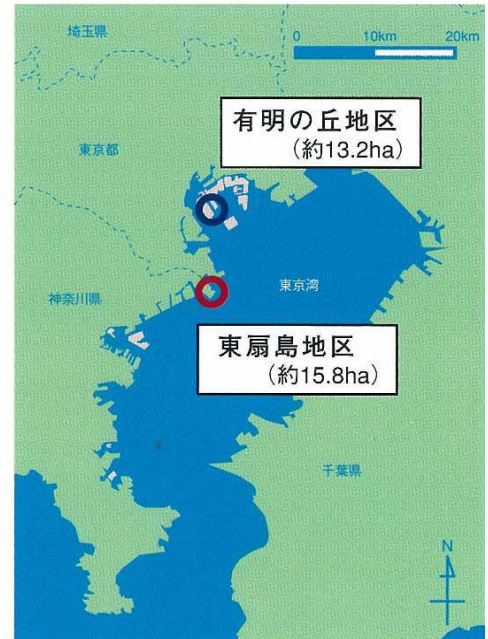
加えて、都内でも有数の集客拠点でもあることから、平常時に多様な活動・情報発信拠点としての可能性も高いと考えられています。

東扇島地区

川崎臨海部の港湾機能を生かした 緊急物資輸送拠点

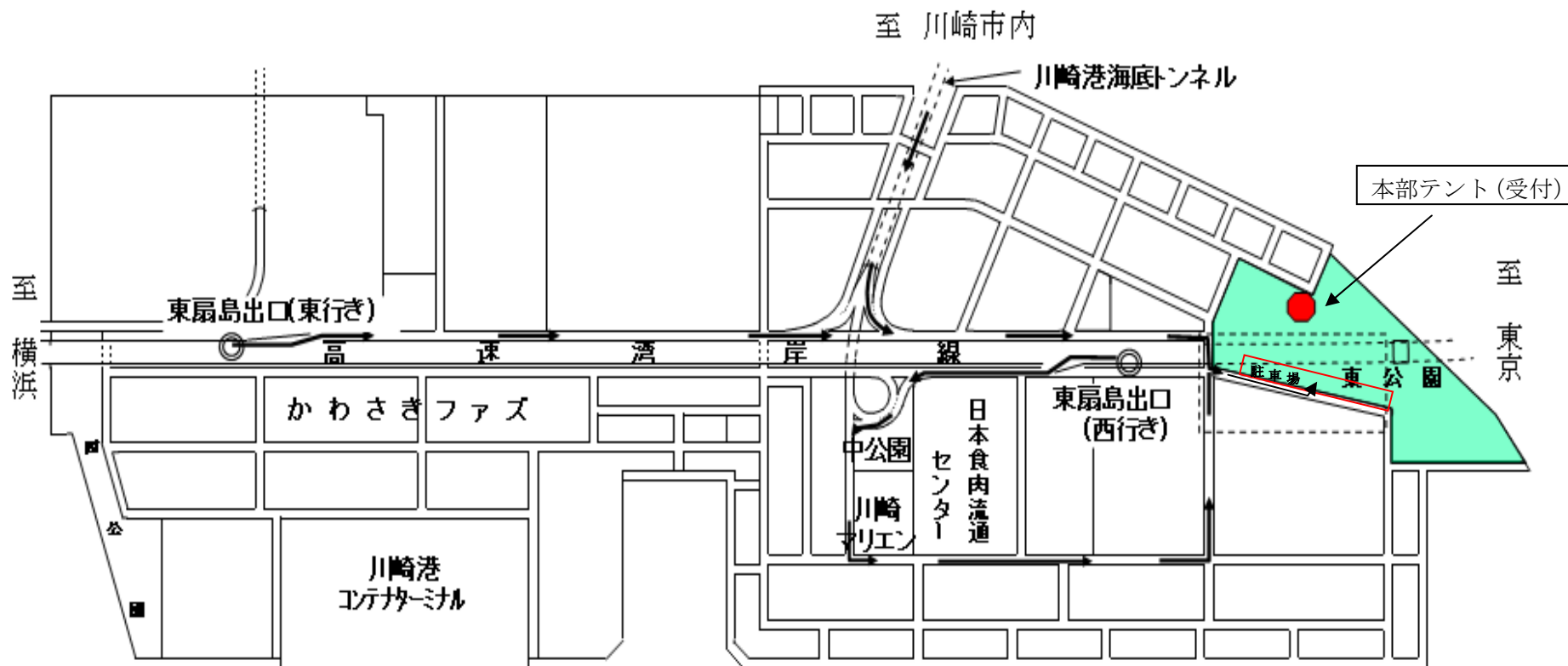
東扇島地区が位置する川崎市臨海部は、水上交通の発達と貨物ヤードや耐震バース等の施設により、港湾機能が充実しており、発災時には、救援物資などの輸送の中継基地としての活用が期待されています。

また、東京湾を臨む大規模なオープンスペースとして、平常時には人々の憩いやレクリエーションの場として活用します。



東京湾臨海部における
基幹的広域防災拠点整備箇所

訓練会場案内図



- ・ 駐車場は東扇島東公園駐車場をご利用下さい。
- ・ 9 : 0 0 より本部テントにて受付いたします。